

# 【議事概要】第 34 回 浜田市行財政改革推進委員会

日 時:平成 27 年 9 月 29 日(火) 9:30～

場 所:浜田市役所本庁 5F 全員協議会室

出席者

## 【委員】

大橋敏博委員、~~光延忠彦委員~~、岩谷百合雄委員、榎岡正明委員、宮内浩二委員、神田純弘委員、大谷克雄委員、花田香委員、賀戸ひとみ委員、細川良一委員、玉置龍一委員、芳川榮佑委員、熊谷富雄委員、加藤喜六委員、市山多津子委員、下谷巧委員、佐古肇徳委員、

【市】副市長、総務部長、財務部長、総務部次長、地域政策部次長、行財政改革推進課長

---

## 1 協議事項

### 浜田市行財政改革大綱の策定について

- ・資料をもとに修正案について事務局から説明後、委員からの意見、質疑を受けた。
- ・委員意見、質疑の詳細については、別紙のとおり
- ・パブリックコメントについては今回の修正案で実施し、今回の意見についてはパブリックコメントの結果と合わせて反映する。

## 2 その他

- ・パブリックコメントの概要について事務局から説明
- ・前回の委員会議事概要について確認を依頼

## 【資料】

資料 1 浜田市行財政改革大綱修正箇所一覧

資料 2 浜田市行財政改革大綱(素案)修正案

資料 3 パブリックコメントの概要

資料 4 第 33 回行財政改革推進委員会議事概要(案)の送付について

## 委員意見等(要点筆記)

委員意見	浜田市回答
I 改革の背景	
<p>アウトソーシングも必要だが、その前に職員自らが無理・無駄・ムラをなくすといった改革をしようという姿勢が読み取れない。その点について文言を追記してもらいたい。</p> <p>その点を表現しないと、アウトソーシングすることへの理解が得られないのではないか。</p>	<p>職員の自助努力、効率性については、毎週週報を作成し業務管理を行っているが、いただいた意見については、必要な視点だと思うので、追記できるものがあれば検討させてもらいたい。</p>
<p>修正案の最後の行「いくこと」が「重要」が正しいのではないか。</p>	<p>お見込みのとおり。修正する。</p>
<p>定員管理については内部だけで検討するのではなく、専門家に判断してもらい本当に必要な人員や作業量を把握すべき。</p> <p>そうしないと自分たちだけでは進まない。</p> <p>自分たちで検討するのは難しいと思うので、何とか専門家に見てもらい、それに基づいて実行してもらいたい。</p>	<p>現在の定員適正化計画を策定するにあたっては、平成 19 年に業務量調査を実施し、浜田市に必要な定員について把握している。</p> <p>それから 10 年が経過し、状況も変わっているので、業務量については何らかの方法で確認していきたい。</p> <p>この進捗管理については、専門家にする予定は今のところないが、場合によっては、この推進委員会や議会の特別委員会へ情報提供し、意見をもらいながら対応していきたいと思っている。</p> <p>定員管理に係る進捗管理については、他市の状況等も調査しながら検討したい。</p>
<p>職員間の競争、それによる資質の向上に関する記載があればいいのではないか。</p> <p>仕事量が増えてできなくなるから、アウトソーシングするというだけでは、市民は納得しづらい。</p>	<p>職員の資質向上については、後の項目「IV 2 つのテーマと 4 つの柱」において触れている。</p> <p>職員間の競争については、人事考課制度ということで、人事課でも進めており、管理職以上については処遇にも反映されている。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>市役所間の横の連携が出来ていないと思われる状況に遭遇した。行政は縦割りということが言われている中で、この点についても考えてもらいたい。</p>	<p>大綱の中で、細かな内容について記載していくことは難しいが、職員教育をする上では重要な視点だと考えている。</p>
<p>自分の会社でも費用の効率化の中で、最も費用が掛かる人件費が削減されていくが、計画どおり削減だけをしていくと、人を減らすことは簡単だが、増やすことは難しい。</p> <p>職員の削減については、業務量を見ながら進めていくように、労使でしっかり協議し、丁寧に進めてもらいたい。</p> <p>職員には元気に働いてもらい、浜田のまちを元気にしてもらえよう願います。</p> <p>職員数については、増えた業務やその分担について、職員の負担を良く考えて実施すべき。単にアウトソーシングをすればいいという話ではない。</p>	<p>行革の中では固定費である人件費を削減していかなければいけないと考えている。</p> <p>職員数と業務量については、今後も行革の方針に従って、労使で協議しながら進めていきたいと考えている。</p>
<p>これから先の仕事量をいかにこなしていくかについて、少人数で仕事をする上で重要なのは段取りである。</p> <p>職員が削減する中、業務が増えるのは仕方がないが、いかに段取りよくやるかの方向性が出せれば、その中で出来ないことはない。</p>	<p>仕事の段取りについては、週報を作成し進捗管理しながら仕事を進めている。</p> <p>こうしたことや研修等を通じて、職員のスキルアップが図れればと考えている。</p>
<p>1 ページのグラフが表現している意味がわからない。累計額であるなら、単年度を棒グラフ、累計は折れ線グラフで表した方が見やすいのではないか。</p>	<p>平成 17 年度を起点にした効果額を表している。</p> <p>グラフについては、解りやすいように検討する。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>パソコンは職員一人に 1 台配置しているのか。</p> <p>そのパソコンでどれくらいの仕事をこなしているのか。他の事例では、パソコンの配置台数を減らし、必要な時にパソコンの席に移動し使用することにより、業務が効率化したとの話を聞いたことがある。</p> <p>職員は 8 時間パソコンを利用して業務を行う必要があるのか。</p> <p>パソコンの更新経費もかなり掛かるのではないか。</p>	<p>臨時職員、嘱託職員含め基本的に一人 1 台を配置している。</p> <p>8 時間パソコンによる業務を行っているのは特定の部署だけで、一般的には現場に出たり、住民対応を行う等している。</p> <p>内部情報の共有ツールとしての役割や出退勤についてもパソコンで管理しているため、一人 1 台の配置は必要と考えている。</p> <p>不必要なパソコン操作については、十分注意して管理しなければならないと認識している。</p> <p>年間 100 台ずつ、計画的に更新している。</p>
<b>Ⅱ 行財政改革の必要性</b>	
<p>予算が削減していく中、続けられない行政サービスが出てくることは仕方ない。</p> <p>そんな中でも具体的な策を示しながら、浜田市は若い人が住みやすい街だということを具体的に、前面に打ち出してもらいたい。</p> <p>流れとして今は非常に良い流れになっていると感じる。</p>	<p>いただいたご意見に関することについては、今策定を進めている総合振興計画の中で具体的な記述をしていきたいと思っている。</p>
<p>行財政改革では、市民がどれだけ我慢ができるか、協力ができるかについて、将来像と合わせてある程度具体的に考えていかななくてはいけない。</p> <p>市民ができることは自分たちでやるという風土を作っていないと、この行財政改革は進まない。何年後にはどういった形になるかを具体的な計画の中では考えてもらいたい。</p>	<p>市民との協働によるまちづくりについては、今後の行政を進めるうえで非常に重要だと考えており、まちづくりの担当部署とも連携をしながら取組んでいこうと考えている。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>職員数の話があったが、業務量の増加については、一つの部署に拘らず、いつでも忙しい部署へ人員を配置できる柔軟さを持つことによって、ある程度解消できるのではないかと考えており、そういった意識を職員全員に持たせるようにしてもらいたい。</p>	<p>人事課では、可能な限りそのような柔軟性について心掛けています。</p> <p>現行の実施計画においても、「適材適所の職員配置」を項目に上げて取り組んではいるが、まだ十分ではない所もあるので、可能な限り柔軟に対応していきたいと考えています。</p>
<p>「住民」と「市民」の表現について、違いがあって使い分けているのか。</p> <p>そうでなければ統一した方がいいのではないのか。</p>	<p>厳密に言葉の意味合いの話をするとは色んな解釈があると思うが、一般的なものについては「住民」とし、協働する相手方が特定される際は「市民」としている。</p> <p>また、他の計画においても「住民ニーズ」等の表現をしているので、それらとの整合性を図るためにも、「市民」と「住民」とは使い分けをさせていただきたい。</p>
<p>市に対して市民が気軽に意見を言える制度はあるのか。</p> <p>そのような機会を作る必要があると思う。</p>	<p>市長直行便という制度があり、市長に対して直接意見をいただく制度を設けている。</p> <p>また、重要な計画についてはパブリックコメントという制度を実施し、広く意見を募集したり、主要事業を実施する際は住民説明会を開催する等している。</p>
<p>IV 2つのテーマと4つの柱</p>	
<p>資料 10 ページにある、「既存の事業や補助事業、人件費に至るまで、あらゆる経費について・・・」と記載があるが、人件費などの経費に言及しているのであれば、その後段にある「行政改革」とう文言は、「行財政改革」が適当ではないか。</p>	<p>2つのテーマと4つの柱という中で、前段部分は行政改革に、後段部分は財政改革に特に注目して記載していたためこの標記にしているが、「人件費に至る」との記載をしているので、整理した上で、修正についても検討する。</p>
<p>骨格はこれでいいと思う。</p> <p>消滅可能性「896 自治体」からの脱却とあるが、現在自治体数いくつあるのか。</p> <p>また、この 896 自治体の中に浜田市が入っているということか。</p>	<p>現在、約 1,700 自治体あり、増田レポートの消滅可能自治体の中に浜田市は含まれている。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>総合振興計画の 32 ページにある財政計画によると、投資的経費は 10 年間で 217 億円となり、公債費は平成 33 年度で 67 億円になっている。</p> <p>平成 33 年度の歳出総額は 322 億円であり、公債費が占める割合は約 17%となっている。</p> <p>つまり、歳入総額の約 2 割は借金返済に充てなくてはならないとうことで間違いないか。</p>	<p>数字的には間違いない。公債費がこれだけあると大丈夫かとの指摘をもらうことがあるが、この公債の内、交付税に算定される部分がある。</p> <p>交付税の算定により、税金からそのまま返済するのではなく、この 67 億円の内約 7 割が交付税として交付され、それを差し引いた金額が実際返済する金額になっている。</p>
<p>一般会計の他に、色々な特別会計があると思うが、全ての会計を合わせると、これから先、返済しなければならない借金はどれくらいあるのか。</p> <p>自治体の会計ではリース料は借入金として計上されていないが、これらを含めて本当に将来返済しなければならない金額はいくらになるのか。</p>	<p>借入金の額としては、一般会計で 550 億円。特別会計では国民健康保険会計が約 70 億円、水道会計が約 100 億円等あり、一般会計と特別会計を合わせると七百数十億円になる。</p> <p>ただし基金が百数十億円あることと、もう一つ重要な点として、過疎債や合併特例債といった国が借金を肩代わりしてくれる制度があり、それを先ほどの七百数十億円から差し引くと、残りの借金は約 170 億円になる。</p> <p>この 170 億円を返済していくこととなり、この行革の中で財源を捻出していかなくてはならない。</p>
<p>浜田市は 700 億借金が有り、そのうち 170 億円を自分たちで負担すれば、のこりは国が面倒を見てくれるという話だが、この財政計画を見ると、現在 12%の実質公債費比率が平成 33 年度には 18%に引きあがっており、財政再建団体の 25%に近づいている。25%まで悪化しないために具体的どうするかが重要だと思う。</p> <p>行革大綱でも公共施設の適正配置を進めると記載しているが、大綱はこれでいいとしても、この下の各種計画について具体的に早く進めていかなければいけない。</p>	<p>公共施設の適正配置については、総合振興計画の審議会でも同様に意見をいただいている。</p> <p>浜田市としては、公共施設の削減目標を延床面積の 3 割を削減していくこととしており、それに基づき再配置計画の策定に向けて検討しているところである。</p> <p>なるべく早い段階で実行できるよう進めていきたいと考えているし、進めていく際には地域に入って丁寧な説明していくつもりですので、委員の皆さんにもご協力いただきたい。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>公共施設は取り壊すにも予算がいる。そうになると、その予算についても、この予算総額の中から出さなければいけない。</p> <p>投資的経費というのは、いわゆるハコモノを作るという話だと思うが、ハコモノも作ったとたんにランニングコストが必要になる。これを支出するのも一般経費である。</p> <p>ハコモノを作るのは見栄えは良いが、修繕等維持管理費や人手も必要になる。このことは、市長をはじめ執行部、議会そして一般市民も真剣に考えないといけない。</p>	<p>委員が言われるとおりでと認識している。</p> <p>ハコモノは造るだけでなく、後にランニングコスト、場合によっては人件費も掛かってくることもある。そういった視点をもって今後も事業を進めていかないといけないと考えている。</p> <p>また、この大綱の中でも、新規施設整備については一定の歯止めを掛ける表現も盛り込んでいる。そういった視点を大切にしながら進めていきたい。</p>
<p>合併から 10 年になるが、その時川本町は合併しなかった。その時、川本町の町長は、借金がどれ程あり、交付税がどれ程あるということを明らかにした上で、何年かでこの借金を返済していくので、町民にも我慢して欲しいと言った。職員もそれに向けて一生懸命取り組み、今はほとんど借金がない。</p> <p>大綱の文言は、立派なことを書いてもダメ。浜田市にどれくらいの借金があり、どれくらいの減価償却をしているかなど、もう少し本当のことを書いて示さないと、浜田市民は納得しないし、協力しない。</p> <p>市民に本当のことを説明し、一応の苦勞を与え、市と市民が一丸となって借金を返済することを考えないといけない。</p>	<p>財政状況だけでなく、色々なことを市民に丁寧に説明し、市民の協力を得ながらやっていくことは、非常に重要なことだと思っており、やってきたつもりではいるが、まだ不十分だという指摘だとおもうので、しっかりと肝に銘じて対応していきたい。</p>

委員意見	浜田市回答
<p>具体的な行革として、自分が考えたのは消防に関する項目についてである。</p> <p>消防には常備消防と消防団と二つの組織がある。そのうち消防団は団員が約 1960 人在籍しており、その中の 100 人以上が全く活動していない。</p> <p>1 年間の経費が 6 万円／人とすると、単純に 600 万円／年を溝に捨てている。合併から 10 年経過するので、約 6,000 万円を無駄にしていることになる。</p> <p>非常事態になった際はこの 100 人が活動してくれるという話もあるが、訓練もしていない団員が役に立つはずがない。</p> <p>そういった小さいことから目を光らせて、経費の削減を進めてもらいたい。</p>	<p>小さなところから削減していくということは必要なことだと考えている。</p> <p>今指摘いただいた、活動していない消防団員の取扱いについては、9 月議会においても一般質問があり、改善を図っていくことで答弁させてもらっているので、今後、経過を見守っていただきたい。</p>
<p>小さなことから少しずつ改善していかないと、大きなことはできないと思うが、この小さな具体的な項目については、別の所で話があるということによいか。</p>	<p>行財政改革実施計画の策定を進めており、各部の方からの項目の精査を進めているので、その中で検討していこうと考えている、</p>

◎ 本日提示した修正案でパブリックコメントを実施し、今回の意見による修正については、パブリックコメントの結果と合わせて次回委員会で提案する。